

ぼうさいマイCREDOの取り組み

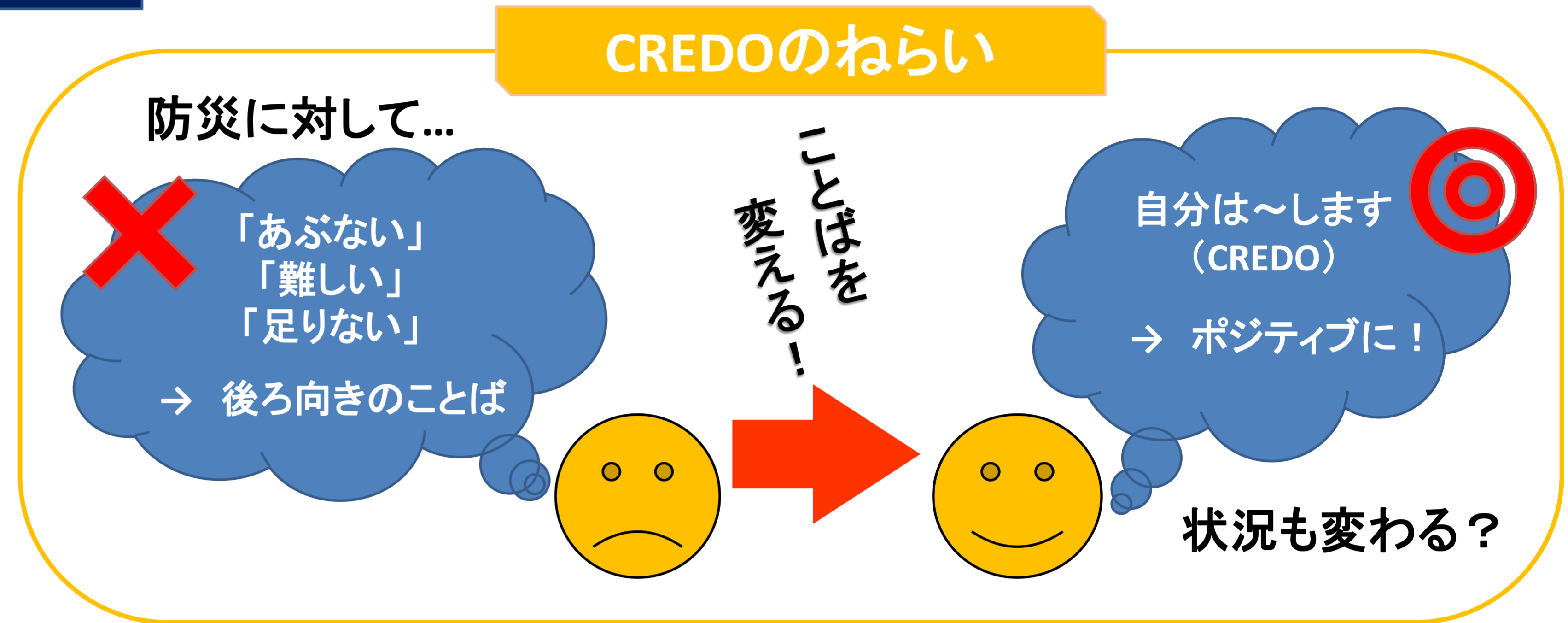
関西大学社会安全学部

尾崎杏奈・田島 篤

CREDOとは？

CREDO(クレド)とは、ラテン語で、「約束・信条」。
 「ぼうさいマイCREDO」は、災害に関して、「自分は～します」というシンプルな宣言文のかたちで、ポジティブな思いを表明する(だけの)取り組みである。
 ことばの力で、ネガティブな状況をチェンジしたい…
 阪神・淡路大震災から21年を経た「KOBE」発の新たなアクション・リサーチとなることを目指している。

CREDOのねらい



対象地域とことばの現状

真陽小学校区は、1995年(平成7年)、阪神・淡路大震災で住宅被害が大きかった地域のひとつである。
 南海トラフ巨大地震では、まちの8割が浸水する想定！



兵庫県神戸市長田区の真陽小学校区

- 建物が新旧混在している
- 人口約6,650人
- 高齢化率は約30%超

こどものことば

Q) あなたは、「防災(ぼうさい)」「災害(さいがい)」ということばを聞いて、どんなことをイメージしますか。思いつくことをなんでもよいので書いてください。文章や言葉だけでなく、絵でも、かまいません。

➤ ハザードの列挙… 56%
 ➤ 「ひとが死ぬ」、「たいへんなことがおきる」、「家がもえる」、「ぜんめつする」 etc.

➤ 後ろ向きではない言葉は、「ひなん」、「ひなんくんれん」、「防災ぶくろ」、そして「高台」… etc.

神戸市長田区真陽小5年生, n=25 (2014.10.実施)

ボランティア、絆、助け合いといったポジティブな言葉はゼロ！

大人のことば

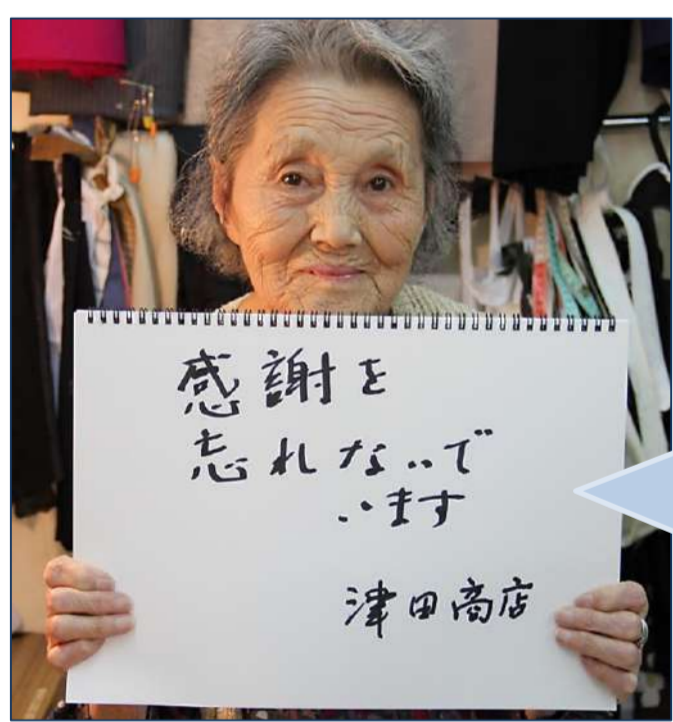
前の家には、寝たきりの老人。隣りは、独居で80代。我が家には、車いすの母。もう、どうしようもない…

20年前は確かに助け合ったよ。でも、みんな歳をとったから、次の災害では無理、無理。

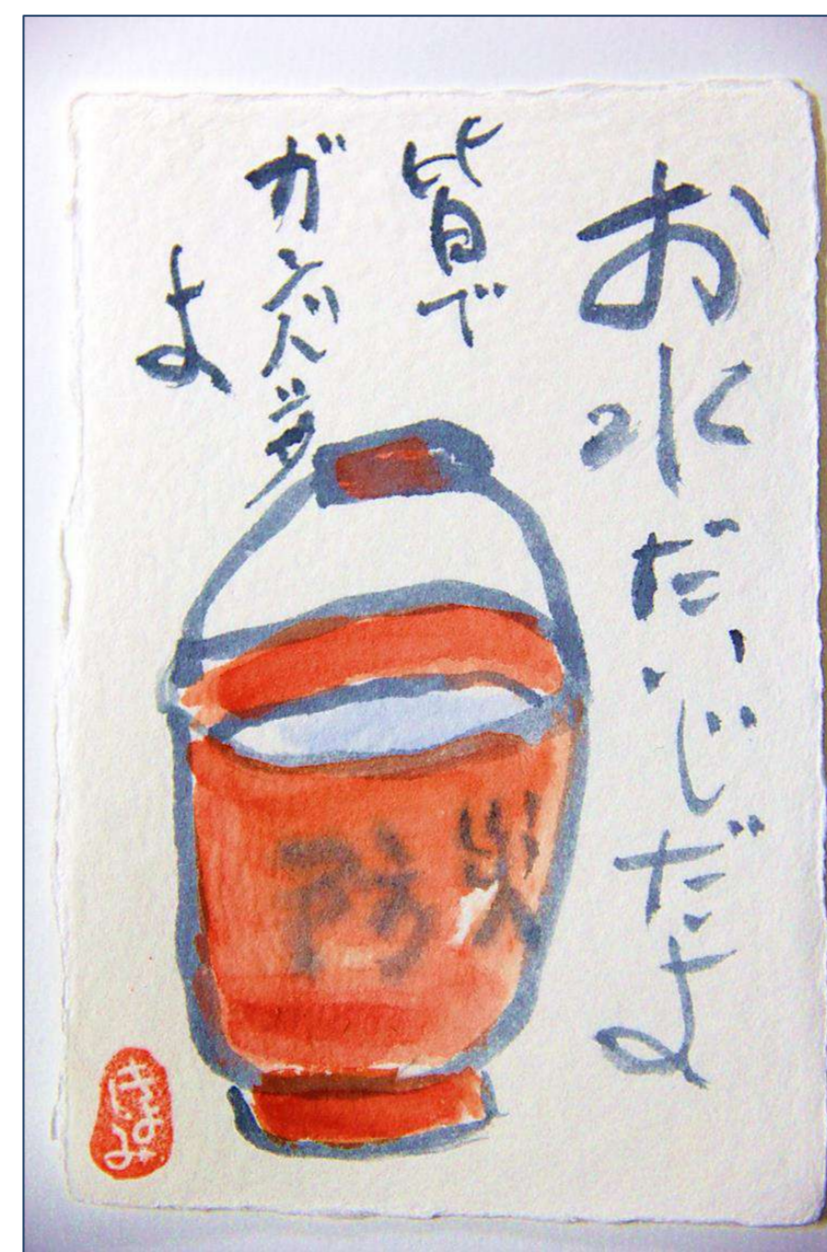
個別訪問による面接式ヒアリング調査(2015.8.1-2.)

災害が来るまえに心が折れてしまっている “ネガティブ・スパイラル”

採取したCREDOの例



阪神・淡路大震災の頃に、たくさんのかたから助けられ、とてもうれしかったです。その感謝の気持ちを忘れないで、災害に備えていこうと思います。



スケッチブックだけでなく、様々なCREDOの表明のかたちがある。これは絵手紙サークルの方たちが描いた「絵手紙CREDO」である。発災直後、消火用の水を運ぶためにバケツリレーをおこなっていた等、当時の事を思い起こしながら描いていただいた。

1. おとうとの面倒をみる。
2. ペットの世話をみる。
3. お母さんのおてたりをみる。
4. みんなを助けてみる。
5. お父さん、お母さんの好きをみる。

小学校5年生のCREDO

お兄ちゃん目線の子供らしいCREDO

1. 17の事を思い出しながら語り合い



当時は水が足りなくて随分と困った。以来お風呂のお湯を残すようにしている。

CREDOの活用方法

多くのCREDOを月めくりの『カレンダー』に掲載することで、日々、励まし、励まされる関係性を強めていけるのではないかな。

新たな未来への動力源となる！



【チームCREDO】わたしたちも励まされました。これからも応援し続けていきます。